

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームぬくぬくの家・幸

作成日 : 平成 23 年 10 月 12 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	○かかりつけ医の受診支援 定期の受診等、利用者の状態に大きく変化がない場合は家族や医療機関へ日頃の様子を口頭で行っている。受診内容については記録しているが、さらに情報の伝達方法について共有できる取組みが必要である。	利用者の普段の様子や体調を、文書化し、かかりつけ医からの情報や体調の経過を、家族や関係者が明確、簡潔に把握できるようになる。	個別での受診記録帳を作成(携帯用)。日頃の様子や体調について記載し受診時にかかりつけ医や家族に確認していただく。受診後の結果については、コメントを頂き関係者が簡潔に利用者の体調の経過を把握できるようにする。	12ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有について 現在の【重度化対応・看取りケアの指針】について事業所の機能や人員配置等、状況を踏まえ事業所内で出来るケアについて家族に説明を行っているが利用者の重度化に伴い対応や指針について検討してみる必要がある。	終末期や重度化に向けた方針について、利用者の状況や事業所の機能も踏まえながら、対応について検討する機会を設ける。	重度化する利用者の状況を踏まえ、対応の段階を合意を得て具体的に示せるよう、現在の【重度化対応・看取りケアの指針】について協力母体や運営推進会議等を通して検討する機会を持つ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。